

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 6545

Vフロン#100SFクリーン上塗

1. 一般名 汚れ防止柔軟形ふっ素樹脂上塗塗料
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴
 1) 耐候性、光沢保持性にすぐれている。
 2) ひびわれ追従性、密着性にすぐれている。
 3) 耐汚染性にすぐれている。

4. 塗料性状

項目		内容		
容姿		2液性		
荷姿		16kgセット(主剤:12.8kg、硬化剤:3.2kg)		
色相		白、淡彩色		
光沢		つや有り		
密度(23℃)	塗料	1.25(白、淡彩色)		
	揮発分	0.87		
粘度(23℃)		70~90KU		
加熱残分		57~63%(白、淡彩色)		
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	30分	15分	10分
	半硬化	16時間	8時間	6時間
標準膜厚		30μm		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界(下限~上限)		SDS参照		

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目		内容		
素地調整		—		
調合法		主剤:80部、硬化剤:20部(重量比)		
可使用時間	5℃	20℃	30℃	
	10時間	8時間	4時間	
使用シンナー		Vフロン#100H上塗用シンナー夏型又は同冬型		
塗装方法	塗装方法	刷毛・ローラー		エアレス塗装
	希釈率	0~8%(重量比)		0~8%(重量比)
	標準使用量	0.12kg/m ²		0.15kg/m ²
	標準膜厚	30μm		30μm
	ウェット管理膜厚	100μm		100μm
エアレス塗装条件		1次圧0.4MPa(4kg/cm ²)以上 2次圧11MPa(110kg/cm ²)以上 チップNo.163-515~615		
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃
	最小	24時間	12時間	12時間
	最大	7日	7日	7日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- 被塗面の塩分、油脂、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使用時間以内に使い尽くすこと。硬化反応が進んだ塗料はシンナーを加えても使用できない。
- 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、さらにウエスで拭いて調整してから施工すること。
- 希釈には必ずVフロン#100H上塗用シンナーを使用すること。
- 塗装終了後の使用器具は直ちにVフロン#100H上塗用シンナーで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。
- 塗装後短時間以内に雨に当たると塗膜が白変する恐れがあるので注意のこと。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第1石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。